

回復期リハビリテーション病棟の直近の実績

(令和3年1月現在)

1. 前月までの3か月間に回復期リハビリテーション病棟（新館3階病棟・新館4階病棟）から退棟した患者数と回復期リハビリテーションを要する状態の区分別内訳

前月までの3か月間に回復期リハビリテーション病棟から退棟した患者数		78名
再掲	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態又は義肢装着訓練を要する状態の患者数	28名
	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は二肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態の患者数	38名
	外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症の状態の患者数	8名
	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態の患者数	0名
	股関節又は膝関節の置換術後の状態の患者数	4名

2. 実績指数

①	前月までの6か月間に回復期リハビリテーション病棟を退棟した回復期リハビリテーションを要する状態の患者数	176名
②	①のうち、実績指数の計算対象とした患者数	127名
③	②の患者の退棟時のFIM得点（運動項目）から入棟時のFIM得点（運動項目）を控除したものの総和	2,734
④	②の各患者の入棟から退棟までの日数を、当該患者の入棟時の状態に応じた回復期リハビリテーション病棟入院料の算定日数上限で除したものの総和	68.4
⑤	実績指数（③／④） （基準35点以上）	39.9点